

ウガ広報

From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

皆さんこんにちは！平成27年度1次隊理科教育でアフリカのウガンダに派遣されてる、小野健太です。ウガンダではもうすぐ新年度が始まるため、それに向けての準備も進められています。しかし今年は大統領選挙があるため、例年よりも1ヶ月遅れての開始となります。そこで今回は日本とは違ったウガンダの選挙風景についても取り上げてみました！

ウガンダにおける選挙の様子



選挙ポスターは数で勝負！

左の写真は選挙ポスターが街中に貼られている様子です。看板や扉、道路標識などにまで貼られています。この写真もよく見ると奥の建物の壁にも大量に貼られています。大量のポスターが貼られる反面、その扱いは雑で、中には破れたり道端に散乱していたりもします。選挙演説の際には近隣に埋め尽くすように貼られますが、演説後はゴミとしてその多くが燃やされてもいました。余談ですが、ポスターの多くはウガンダ人の手が届く範囲にポスターが貼られています（笑）

パレードは派手に賑やかに

日本ではよく選挙に立候補した人が選挙カーで回って歩きますが、ウガンダでは本人以外にもそのサポーターがパレードを行ったりしています。右の写真はトラックの荷台に大型のスピーカーを数個積み、音楽を大音量で流しながらサポーター達が宣伝をしている様子です。私の任地では比較的小規模ですが、大都市などでは大名行列のように大勢が練り歩いたりしていました。パレード以外でも、日中街中で楽器を演奏して盛り上げている人もいたり、お祭り騒ぎになっています！



ウガンダの新聞

選挙についての情報源



UGANDA DECIDES 2016 today's campaign LOCATIONS

Museveni	Masindi & Homa	Swanika	Munawa & Dabulba
Banyarwaba	Kiroo	Beniga	Kalanga
Mubazi	Gomba, Mpag & Eutambo	Birara	Free
Mabizi/Kyalya	Lyantonde & Mbarara		

左の写真はウガンダで出されている新聞の一部です。新聞では「投票日まであと何日か」や「候補者がキャンペーンで回る場所」などの情報が載っています。選挙活動中には反対派の人たちが暴動を起こすなどの危険性があることから、事前に新聞などで情報収集をしています。けれども候補者の参加しないパレードについての情報は、こうした新聞では得られないので、常に周りの様子に気を配る必要があります。

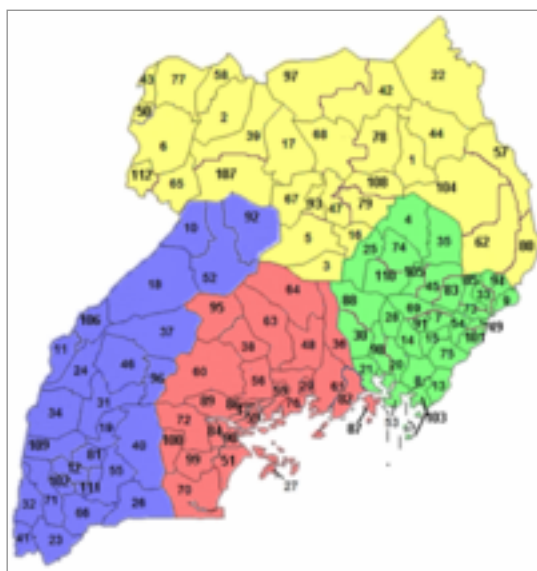
ウガンダの地方行政の様子

今回、ウガンダでは大統領選挙ということで盛り上がっておりますが、現大統領のムセベニは1986年から20年間に渡ってウガンダを治めています。日本では首相は国会議員の中から選出されますが、ウガンダでは大統領を国民が直接投票して決めます。もちろん、ウガンダでは大統領選挙だけでなく、日本でいう知事にあたる人なども選挙によって決められます。そこで、ウガンダの地方行政についても見てみましょう。ムセベニは就任時から「民主主義の回復」を掲げて、地方自治体を確立しました。地方分権のために地方評議会(LC: Local Council)制度を導入しており、5段階に分かれています。

ウガンダの地方評議会 (LC) 制度			
区分	英語名	日本語名	選挙方法
LC5	District	県	直接選挙
LC4	County	郡・州	間接選挙
LC3	Sub-county	副郡・副州	直接選挙
LC2	Parish	地区	間接選挙
LC1	Village	村	直接選挙

一番高位であるLC5は日本でいう「知事」にあたり、県のトップの政治家として機能しています。また、下の階級にあたる村から副州まで(LC1~3)の地方自治体は行政だけでなく、司法・立法機能があるというのは日本との大きな違いだと思います！

ウガンダには現在112の県があります。2010年に現在の県数になりました。私のナムトゥンバ県は2006年に、現在お隣のイガンガ県北東部にあったブシキ郡が分割されたことによってできたそうです。県の数がとても多いので、現地の人たちでも自分の住んで居る地域以外の県を覚えていない人が多いです。(ナムトゥンバは新しい県なので、右図の緑の部分以外では「イガンガ県」と言わないとなかなか場所を理解してくれないです...) また、県が増加したことで地方分権化が進められた反面、その下に位置する自治体・地方議員が増え、そのためウガンダ政府の財政の大きな問題となっているそうです。



ウガンダの県 (112県)

天気に関心! ?

下の写真はウガンダの新聞に載っている天気予報欄。どこの天気予報かもわからない上、マークが違うのに説明は同じ内容(笑) 確かにウガンダは日本みたいに北と南で気候が大きく異なったりはしませんが、全国共通の天気ではないです...また、雲の様子から「雨降りそうだな」と判断する人が少ないように感じます。



子供達は「神様が決める」と言っているし、天気についての意識は低いようです。

ウガンダの選挙の様子は日本とかなり違い、色々驚くことが多いです。候補者ごとに色やフィンガーサインなどもあり、そうした色の服の着用、フィンガーサインの使用などが候補者を支持していると思われてしまうこともあるそうです。現大統領のムセベニはサムズアップがフィンガーサインで、私自身よく使うため最近使用に気を使っています(笑) 不用意な行動で騒動に巻き込まれないようにして、残りの選挙期間を過ごしたいと思います！

平成27年度1次隊 理科教育 小野健太